

# 地域おこし協力隊活動報告書 令和6年12月分



## 古家のぞみ

出身：千葉県市川市  
趣味：編み物  
着任日：令和5年4月（2年目）



活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

## 園の解説案内等

冬になり昆虫の数は減少していますが、今の季節しか見られない、冬の寒さに耐える昆虫の様子が観察できるようになりました。県内外から虫好きの親子連れや学校団体が来園され、自然について楽しく学んでいただけるように解説案内を実施しました。12月も土日を中心に解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動しました。一般案内は12回、46名、団体を1件、25名対応しました。

今年はモミジの紅葉が遅く、12月中旬から赤く色づいてきました。皆さんは紅葉したモミジを見るときに、地面の落ち葉を踏んで移動していませんか？実は、その中に子供が遊んで楽しめる、モミジの種が落ちています。モミジの種を空に投げると、回転しながら落下します。モミジの種には羽のようなものが付いており、タンポポの綿毛のように、風に乗って遠くまで移動することが出来ます。その為、親子が光の奪い合いをすることがないような仕組みになっています。

落ち葉を触り、その中から種を見つけ出し、投げて遊ぶ体験は小学生以下のお子様に大人気です。本格的な解説案内を行う前の導入として、自然に親しみ、楽しんでもらうことを意識してこのような体験を行いました。

また、12月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介をしました。12月に新しく見られた生き物はウラギンシジミなど6種類、引き続き見られる生き物はクスアオシヤクなどの13種類を紹介しました。



## まち協等での活動



15日（日）に田平町民センターで実施された「親子でわくわくワークショップ」では、「毛糸でポンポンリース」の講師としてイベントを実施しました。子ども育成部会のサザエ3事業の一つとして、親子3世代の絆を深めることを目的とした今回のワークショップでは、全体で9家族約35名、「毛糸でポンポンリース」では保護者含めて23名が参加しました。参加者は自分の好きな色のポンポンを選び、思い思いのリースを作成していました。事前準備の効率化が課題として考えられるので、次回の部会で共有を行います。

## 園内で新しく見られた生き物



### <クワエダシヤク>

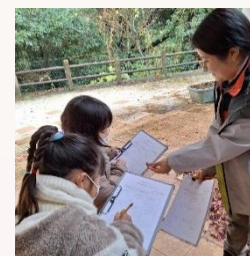
12月の初めから、クワエダシヤクというガの幼虫が現れています。この幼虫は、鳥などの外敵からどのように身を守るとお考えですか？実は、クワの木の枝に擬態することで身を守ります。（左）

枝の先端のように見えるのは頭で、枝につかまっているのは末端の足です。口から糸を出して体を支えているため、糸を手掛かりに探すこともできます。このような木の枝に擬態する幼虫は複数種類おりますので、機会があれば探してみるのはいかがでしょうか。

## イベントの報告



12月7日（土）に田平学童保育所ビートルクラブで実施された「落ち葉でクリスマスオーナメントづくり」では、講師としてイベントを実施しました。23名の児童が気に入った落ち葉を選び、自分だけのクリスマスオーナメントを作成しました。子ども達が大人になったとき田平町が、ずっと暮らしたい町、いずれ帰りたい町、自然が多く落ち着く町としての思い出に残る事を目的に実施しました。



21日（土）にたびら昆虫自然園で実施された公民館講座の「昆虫ビンゴ」では、講師としてイベントを実施しました。児童2名が参加し、普段は見つけることが難しい、冬の昆虫の観察を行いました。どうしても昆虫といえば夏のイメージが強いですが、冬に昆虫の観察会を行う事で、田平町の多様な自然に気づき、ふるさとを大切に思う気持ちを強くしてもらおう事を目的にイベントを実施しました。

## 今後のイベント

2月15日（土）に予定しています田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として小学生を対象に「昆虫模型作り」を実施します。興味のある方の参加をお待ちしております。

2月16日（日）に予定しています地域おこし協力隊活動報告会は、紐差の中部ふれあいセンターで実施します。平戸市の地域おこし協力隊4名の発表を行います。興味のある方の参加をお待ちしております。